

～分散方法の違いによる安定性や機能向上、分散状態が大きく影響する光と色に関わる事例を中心に解説～

化粧品における顔料微粒子の分散法と安定化法 ～光と色を制御する分散技術～

- ◆日時：2020年10月18日(月) 13:00～16:00
- ◆会場：自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円(税込)**
 ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

講師

プライミクス株式会社 乳化分散技術研究所® テクニカルディレクター 高橋 唯仁 氏

講師紹介

1983年 早稲田大学工学部卒
 1988年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了
 同年 (株)資生堂(基礎科学研究所、皮膚科学研究所、ライフサイエンス研究所、薬剤開発研究所、製品開発研究所)
 2008年 TTI・エルビュー(株)(DDS事業部、化粧品開発部、基礎研究部)
 2010年 日本ロレアル(株)(アジアオープンリサーチ)
 2013年 プライミクス(株)(乳化分散技術研究所)

【講座の趣旨】

化粧品顔料は、微細化技術、コーティング技術など、材料面でのアプローチにより様々な新規原料が開発され、スキンケア、メーキャップの新しいコンセプトの創出に寄与している。特に近年ではナノテクノロジーの進歩により、サブミクロンからナノサイズの微細粒子が開発され、新たな機能や感触を創出する材料として注目されている。しかしながら、微粒子分散系は、時に「粒子そのものは小さいはずだが、微粒子としての機能がなかなか発現しない」、あるいは「溶液やスラリー中で機能が出ない」などの問題に直面するケースがある。すなわち、一次粒子径の値より組成物内での分散状態により機能発現が左右する場合が多く、実用的には、顔料微粒子固有の機能、色感、質感を引き出すために、原料の選定、処方検討ばかりでなく、これまで以上の高い分散技術も同時に要求される。本セミナーでは、化粧品顔料の機能を最大限に引き出すための機械的分散技術に焦点をあて、同一処方でも分散方法の違いによる安定性や機能向上、特に分散状態が大きく影響する光と色に関わる事例を中心に紹介し、「ブレンディングサイエンス」の視点から、目的に適した機種を選定方法および分散工程の重要性について、分散技術によって機能が進化した事例に基づいて解説する。

【プログラム】

- 化粧品用粉体原料
 - 1.1化粧品剤形と粉体
 - 1.2色材の種類
 - 1.3着色顔料
 - 1.4白色顔料
 - 1.5体質顔料
 - 1.6光輝性顔料
- 顔料分散に関与する三要素
 - 2.1ぬれ
 - 2.2解砕(微細化)
 - 2.3安定化
 - 2.4分散における攪拌機の寄与
- 媒体中での機械的解砕過程
 - 3.1化粧品に用いられる機械類
 - 3.2湿式攪拌機の種類と特徴
 - 3.3機種選択のヒントと上手な選び方・使い方
- 分散技術で差がつく性質とその事例
 - 4.1分散安定性
 - 4.2濃厚系スラリー
 - 4.3化粧品における光と色に対する分散の影響
- まとめ

【質疑応答等】

『化粧品顔料』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。		<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送	

●セミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。
 セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
 個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>